

中国海洋大学 2018 年硕士研究生招生考试试题

科目代码： 883

科目名称： 综合日语

日本語学の部（回答は解答用紙に書くこと）

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。（50点）

我々が日常、他人とコミュニケーションをする場合には、必ず目的がある。友達との単なる雑談であっても、無目的に会話をしているわけではない。もし目的がないのであれば、まったく言葉を交わさないという選択も有り得るはずだが、実際には、友達と会って沈黙を保ったままでいたら、かなり気まずい雰囲気になるだろう。これは、一見、無目的な雑談にも、相手との関係を深めたり、円滑にしたりする機能があるということを証明している。

お金を貸してくれるよう誰かに頼むという場合の目的は、もちろん相手にお金を出させるということであるが、そのためには、研究発表のように情報をわかりやすく説明するというだけでは足りない。相手の心理に働きかけて「お金を貸してあげよう」という気持ちを起こさせるようにすることが必要になる。またその際、いきなり「五十万円貸してください」と切り出したら、相手を怒らせ、借りられるお金も借りられなくなる。できるだけ丁寧な言葉を使い、相手の共感が得られるような表現を選んで自分の事情を話し、いくら借りたいのかを伝えなければならない。返済期限を決め、それまでに必ず返すと保証することも大切であろう。

このように、日常生活の中でのコミュニケーションは必ず目的をもっており、我々はその目的を達成するために様々な方策を用いている。

設問

1、文中にある「友達との単なる雑談であっても、無目的に会話をしているわけではない。」

特別提醒： 答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

という文に使われる「～ている」の文法的意味は、どのように理解すればよいか。

「私は、いま本を読んでいる。」という文に使われる「～ている」とは、文法的意味に違いがあるか。なぜか。(5点)

2、「お金を貸してくれる」「お金を貸してください」「お金を貸してあげよう」などのような表現は、日本語では、授受表現といわれ、そこに使われる動詞のことを授受動詞と呼ばれ、体系的に存在し、運用されている。「くれる」「くださる」「あげる」のほか、どのようなものがあるか、どのような体系性をもつかについて、説明しなさい。また、「くれる」「くださる」「あげる」三語以外の授受動詞を使って、一つずつ例文を作ってみなさい。中国の日本語学習者にとって、授受動詞の習得にどこが問題なのか簡単に答えてみなさい。(10点)

3、日本語の語彙の分類基準には、よく「語種」という概念を用いられる。この「語種」について、簡単に説明しなさい。また、上の文章から、語種にあわせてそれぞれ一例ずつ語例を挙げなさい。(5点)

4、「お金を貸してくれるよう誰かに頼む場合」は、あなたは普通、どのように頼むか。目的達成のために、どのような言語表現で臨むか。(5点)

5、あいさつは人間関係の基本である。町ですれ違う見知らぬ人にあいさつをしないことからわかるように、あいさつは自分と相手が既知の関係であることを確認したり、新しく関係を築こうとしたりする際のシグナルとも言える。

「おはようございます」「こんばんは」などの表現は、日本人の日常生活の中でよく使うものだが、相手との距離を一層縮めるためには、「おはようございます」「こんばんは」のあとに続く表現は、どのようなものが考えられるか。(5点)

特別提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

6、「障子」と聞いて、思い浮かぶ単語をできる限り挙げてみなさい。また、挙げられた語を用いて、意味のまとまった文を作ってみなさい。(5点)

7、日本語の文字表記というのは、とにかく複雑で、さまざまな文字種を一文の中で披露するのであるから、視覚的にも大変バラエティーに富んでいる。次は質問です。(15点)

- (1) 日本語の文字種は何種類あるか。
- (2) 複雑な文字種はどのように使われているか。
- (3) 一つの言語で多種類の文字が使われる利点と欠点について分析しなさい。

特别提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

文学の部

一、次の言葉に読み方をつけなさい。(0.5×10=5点)

高野聖 枕草子 額田王 小野小町 谷崎潤一郎 梶井基次郎 森鷗外 金色夜叉
菊池寛 平家物語

二、次の内容について、正しいと思うものに“○”を、正しくないと思うものに“×”をつけなさい。(1×10=10点)

- 1、『源氏物語』は女流文学のなかでももっとも精彩を放っている。
- 2、中世の文学は貴族の文学と言える。
- 3、『凌雲集』は最初の漢詩集である。
- 4、『新古今和歌集』は近世の勅撰和歌集である。
- 5、日本の浪漫主義文学は西洋の自然主義に影響されながらも独自の展開を見せた。
- 6、大正時代、私小説が衰え、大衆小説が多くの読者を得た。
- 7、永井荷風は文壇に登場した初期は自然主義作家として活躍していた。
- 8、芥川龍之介は『鼻』で夏目漱石の激賞を受け、文壇に登場した。
- 9、葉山嘉樹は『セメント樽の中の手紙』で、その高い文学性が認められた。
- 10、『高瀬舟』は森鷗外の「歴史離れ」の小説であった。

三、次の日本文学事項を簡単に説明しなさい。(4×4=16点)

- 1、横光利一 2、志賀直哉 3、余裕派 4、『古今和歌集』

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(19点)

日本の作家が盛んに日記を書くのは、おそらく、日記というものの内省的な性格による。人が（とくに女性が）感情を自由に口にできなかつた社会では、声高にしゃべれない思いのはけ口が日記に求められた。もちろん、すべての日記が等しく興味深いのではない。平安時代の女性の日記は、何世紀隔てても変わらない人間の感情をつづっていて、現代人にも身近に感じられる。一方、同時代の男性の日記は、

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

主として宮廷内での出来事の記事で埋められており、作者自身の姿が見えず、退屈なことが多い。

日記はときにはあまりにも赤裸々な自己告白であるため、作者は、それを焼き捨てよう家族に遺言することがある。(中略) 近代文学では、文章による告白が「私小説」という新しい形式に発展した。私小説の作者は、人がふつう口外したがるないたぐいの行動や考えを、微に入り細にわたって書き記す。自伝的小説はどの国の文学にも見られるが、日本では、私小説がときには特別重要なジャンルとして扱われ、単なるでっち上げにすぎないフィクションより高級とみなされることがあった。

日本の作家が日記や私小説を好むのは、長編の散文や詩を構成することの困難さによると思われる。日本語の散文にはセンテンスを長くしようという自然の傾向があり、作者の最大の努力は、表現の流れにとぎれを生じさせないことに傾けられる。センテンスからセンテンスへの移行には、連歌を読むのにも似た細心の注意が払われても、全体的な構造はなおざりにされがちである。能のように短く、形式的な制約の多い演劇なら、完璧な構成も可能だったが、十八世紀や十九世紀のもっと長い芝居になると、なんとなく関連性のある場面をいくつかつなげたという程度のもも出てくる。歌舞伎の作品が通して演じられることが少ないのは、そのためだろう。日記では、日が変わり、旅先が変わって、それが文章に自然の枠をはめてくれる。日本人の肌に合うゆえんかもしれない。

問1、次の文中の言葉に読み方をつけなさい。(3点)

連歌 内省 歌舞伎

問2、「私小説」についての自分なりの理解を述べなさい。(4点)

問3、上の文章の作者は日本語の散文の特徴はなんだと思っているか。(3点)

問4、文中「日本では、私小説がときには特別重要なジャンルとして扱われ、単なるでっち上げにすぎないフィクションより高級とみなされることがあった」という現象に自分なりの考えを述べなさい。(9点)

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

日本文学と翻訳

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

五六台の一輪車が追手に帆をあげた。

そして、貧民窟を横ぎった。塵埃の色をした苦力が一台に一人ずつそれを押していた。たった一本しかない一輪車の車軸は、巨大な麻袋の重みを一身に引き受けて苦しげに咽びうめていた。貧民窟の向う側は、青い瓦の中国兵営だ。

一輪車は菱形の帆をふくらましたまま貧民窟から、その兵営の土煉瓦のかげへかくれて行った。帆かげは見えなくなった。だが、車軸はいつまでも遠くまで呻吟を、つづけていた。

貧民窟の堀立小屋の高梁稈の風よけのかげでは、用便をする子供が、孟子も幼年時代には、かくしたであろうと思われるようなしゃがみ方をして、出た糞を細い棒切れでいじっていた。

紙切れ、ポロ切れ、藁屑、玻璃のかけらなど、——そんなものの堆積がそこらじゅう一面にちらばっていた。纏足の女房は、小盗市場の古びた骨董のようだ。顔のへしゃげた苦力は、塵芥や、南京豆の殻や、西瓜の嚙りかすを、ひもしげにかきさがしつつ突ついていた。彼らは人参の尻尾でも萎れた菜っぱでも大根の切屑でも、食べそうなものは、なんでも拾い出してそれを喰った。

(1930・11)

問1：全文を中国語に訳しなさい。(15点)

問2：「戦争」に関して言及のある日本文学作品を一つ取り上げて論じなさい。(300語以上の日本語で書くこと)(10点)

特別提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

19世紀70年代、在地方出生、后来上东京入私立大学、希望成为文学家的青年中、辈出了众多的所谓“自然主义”的小说家。他们是在肩负德川时代以来的文化传统最薄弱的环境中成长起来的。在东京、吸引他们的是西方。与西方的语言、思想、文学直接结合在一起的组织、就是新教的教会、因此他们大多数人接近了教会。由于留学西方仅限于官学出生者和官吏、拒斥了私学的文学志愿者、因此更加促进他们接近教会。教会打开了通向西方的窗口。但是基督教的本质部分（在同超越的绝对者的关系上所定义的正义、以及基督教的罪的拯救观点）终于没有能够说服这些要忠实于自己的文学青年们。除了白鸟外、在这些小说家们的作品中、弃教几乎没留下任何精神性的痕迹。

問1：全文を日本語に訳しなさい。(15点)

問2：キリスト教と日本近代文学の関係について、具体的な例を挙げながら日本語あるいは中国語で論じなさい。(10点)

特别提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。